



第75期 ビジネスレポート

2022年4月1日 >>> 2023年3月31日



綜研化学株式会社

証券コード：4972

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに、当社第75期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)のビジネスレポートをお届けし、当社グループの事業概況をご報告申し上げます。

2023年6月
代表取締役社長 福田 純一郎



● 安定的な利益成長を目指して

当期を最終年度とする中期経営計画「New Value 2022」では、既存事業領域での収益力を拡大・強化するとともに、新たな成長基盤の確立に取り組んでまいりました。コロナ禍での活動制約はありましたが、液晶ディスプレイ分野での粘着剤のシェア拡大や生産設備増強による競争優位性の向上、サステナブルな製品開発に向けた技術・知見の蓄積、研究機関・スタートアップ企業との連携強化による新規事業テーマの獲得などの成果を上げました。しかしながら、数値目標については売上高目標370億円を達成したものの、営業利益目標35億円に対しては、前期から続いた原材料価格高騰や液晶関連分野での生産調整の影響を受けて大幅に下回る結果となりました。

安定的な利益成長を果たすには、原材料価格や液晶ディスプレイ需要などの業績変動リスクに強い事業構造への転換が不可欠と認識しております。新たな中期経営計画「Advance 2025」は、事業ポートフォリオの変革に向けたファーストステップと位置付け、既存事業の利益最大化を追求するとともに、環境・社会課題の解決を志向した新技術・製品の開発や新規事業の確立に向けた積極投資を推進し、次世代事業領域の創出に取り組んでまいります。また、重要性が高まるサステナビリティ活動推進体制の構築、次世代を担う多様な人材の活躍・成長を促す人事制度改革や、新たな価値創造に繋がるデジタル技術導入など、持続的な成長を支える経営基盤の強化にも注力してまいります。

● 中期経営計画「Advance 2025」の概要

当社グループは、激変する事業環境のなかで、安定的かつ持続的な利益成長を果たすために、環境変化に強い事業構造への転換が不可欠との認識にたち、独自の技術・製品開発力を磨き、環境・社会課題の解決を志向した事業領域の創出と事業構造の変革により、新たな成長軌道を築き、社会の発展とともに成長し続ける企業集団を目指しております。

中期経営計画「Advance 2025」では、収益基盤の維持・拡大と収益性の改善によりキャッシュ創出力を高め、事業ポートフォリオの変革に向けた新たな事業領域の創出に経営資源を積極投入し、安定的な利益成長が実現可能な経営基盤を構築することを目指します。

<重点施策>

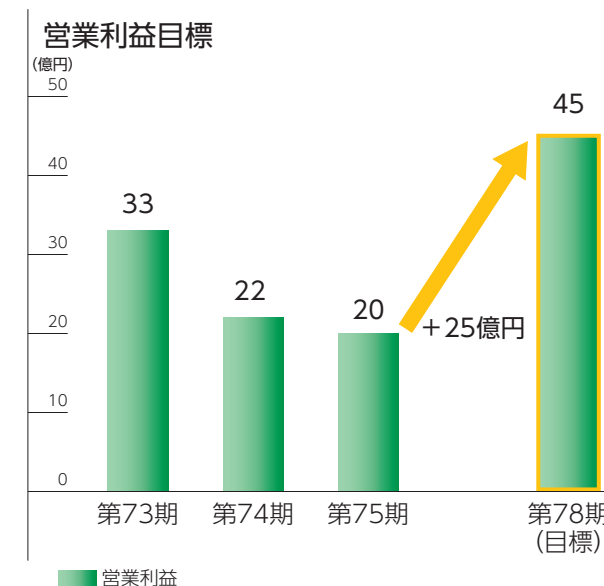
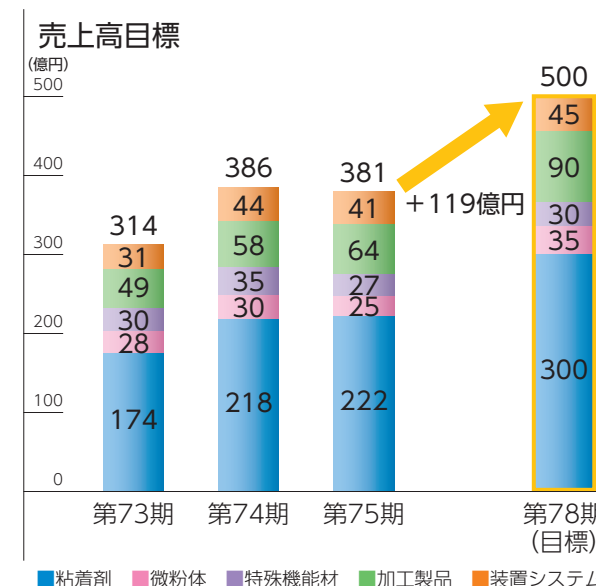
- ◆ 既存事業による安定収益基盤の拡大と収益性の改善
- ◆ 事業構造改革に向けた次世代事業領域の創出
- ◆ サステナビリティ経営の推進

<数値目標>

連結売上高	500億円
連結営業利益	45億円
ROA	7%以上
ROE	9%以上

<投資計画（3年間）>

設備投資	130億円
成長投資枠	70億円



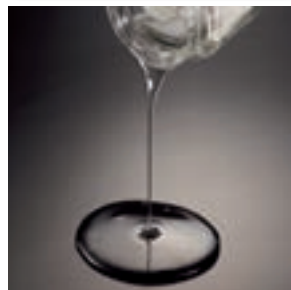
●次期の見通し

次期の事業環境は、引き続き先行き不透明かつ厳しい状況が続くと見ておりますが、当社グループといたしましては、中国シフトが進む液晶ディスプレイ関連の需要を確実に取り込むとともに、自動車や情報・電子デバイスなど成長分野での新たなニーズ獲得に注力し、安定収益基盤の拡大と収益性の向上を図ってまいります。また、バイオマス材料・製品や革新的生産プロセスの開発、新規事業開発体制の強化など、環境変化に強い事業構造への転換に向けた取り組みを推進してまいります。

業績につきましては、売上高は405億円、営業利益は32億円、経常利益は30億円、親会社株主に帰属する当期純利益は21億円を見込んでおります。

●商品ユニット別の概況

粘着剤

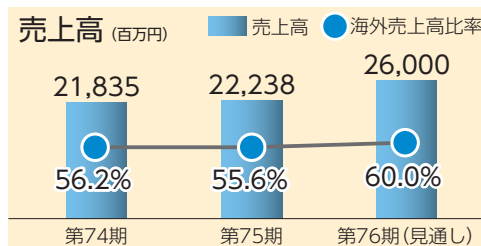
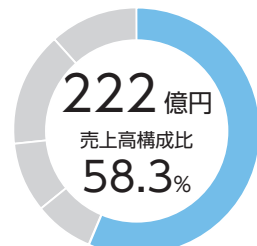


当期は、液晶ディスプレイ関連用途の販売数量が生産調整の影響を受けて減少しましたが、原材料高騰に対する価格改定の効果などにより、売上高は前期を上回りました。

次期は、液晶ディスプレイ分野の市況回復と中国市場での需要拡大が見込まれ、確実に需要を取り込むとともに、中国南京工場の更なる生産設備増強を進めてまいります。また、需要が拡大する環境配慮型製品の拡充と新たなニーズ探索に取り組んでまいります。

主な用途

光学フィルム
自動車用テープ
建材用テープ



微粉体

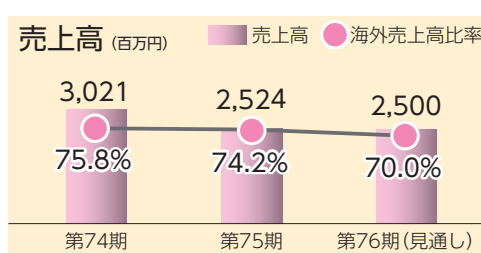
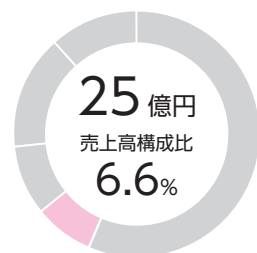


当期は、中国光拡散用途や電子部品関連用途の販売数量が需要低迷の影響を受けて減少したことなどにより、売上高は前期を下回りました。

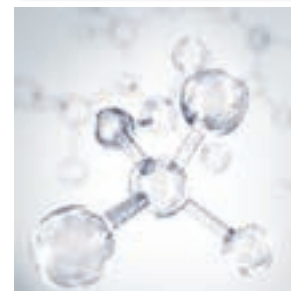
次期は、主力の光拡散用途の需要減少により厳しい状況が続いておりますが、生産合理化による利益確保に取り組むとともに、情報・電子分野での新規顧客開拓や環境配慮型製品の採用獲得に注力してまいります。

主な用途

LCD用光拡散剤
トナー添加剤
多孔質材料



特殊機能材

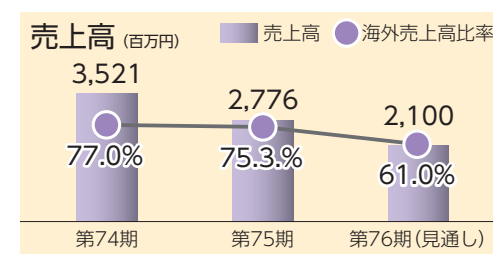
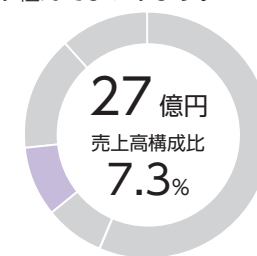


当期は、中国市場でのスマートフォン市況悪化の影響を受けて電子回路材料用途の販売数量が減少したことなどにより、売上高は前期を下回りました。

次期は、電子回路材料用途の短期的な需要回復が見通し難いなか、微粉体事業と連携して情報・電子部品分野での顧客・用途開拓に注力するとともに、中国研究開発センターの製品開発・技術対応力の強化に取り組んでまいります。

主な用途

電子基板材料
印刷インキ
建材用添加剤
有機導電材料



加工製品

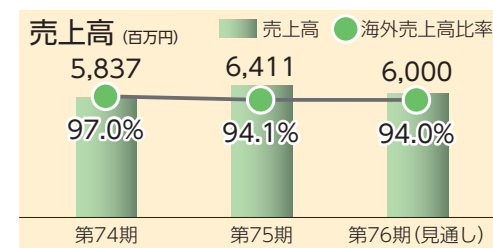
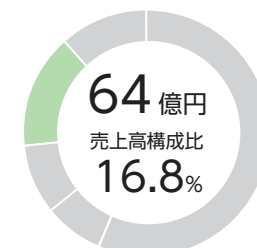


当期は、スマートフォン関連の販売が減少しましたが、中国自動車市場向けや電子表示用途での販売が増加したことなどにより、売上高は前期を上回りました。

次期は、スマートフォン関連の低迷に加え、電子表示用途での在庫調整の影響を見込んでおりますが、中国自動車市場での更なる販売拡大に注力するとともに、普及が進む電気自動車向けでの新たなニーズ探索・開発に取り組んでまいります。

主な用途

情報電子機器
自動車
家電



装置システム

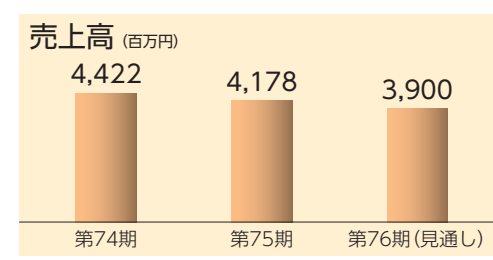
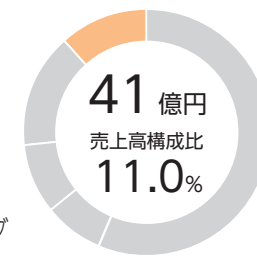


当期は、受注は堅調に推移しましたが、設備関連の工事完成高が前期を下回ったことなどにより、売上高は前期を上回りました。

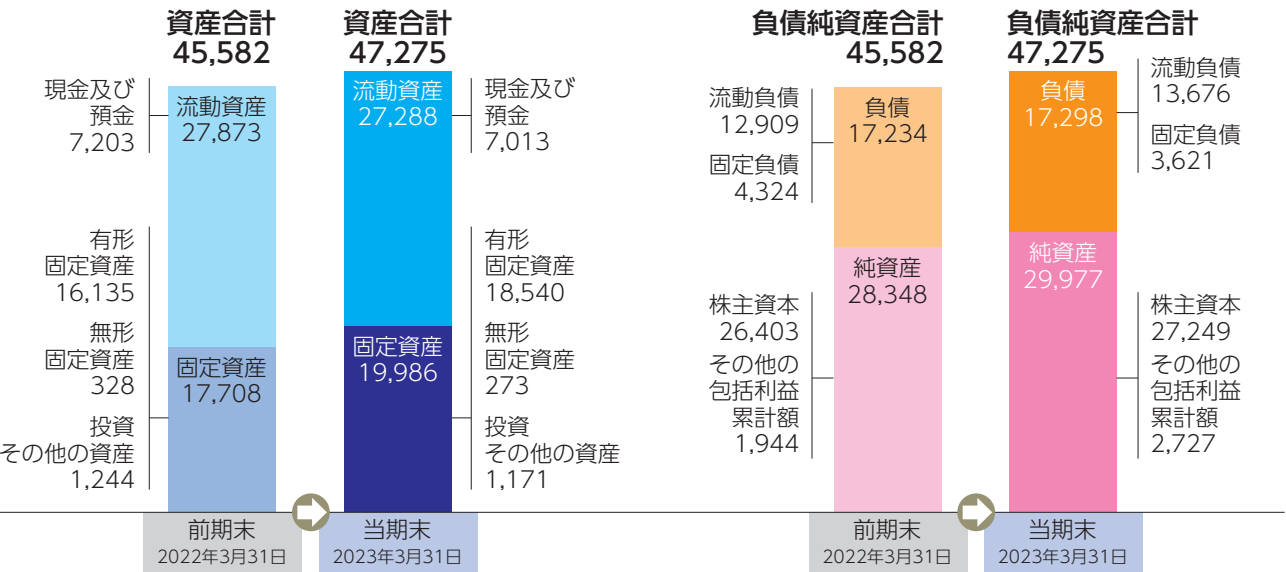
次期は、独自の設備診断サービスの拡充や劣化した熱媒体油を再生加工した環境配慮型製品の販売拡大などに注力し、景気変動の影響を受けにくい事業構造への転換を推進してまいります。

主な製品等

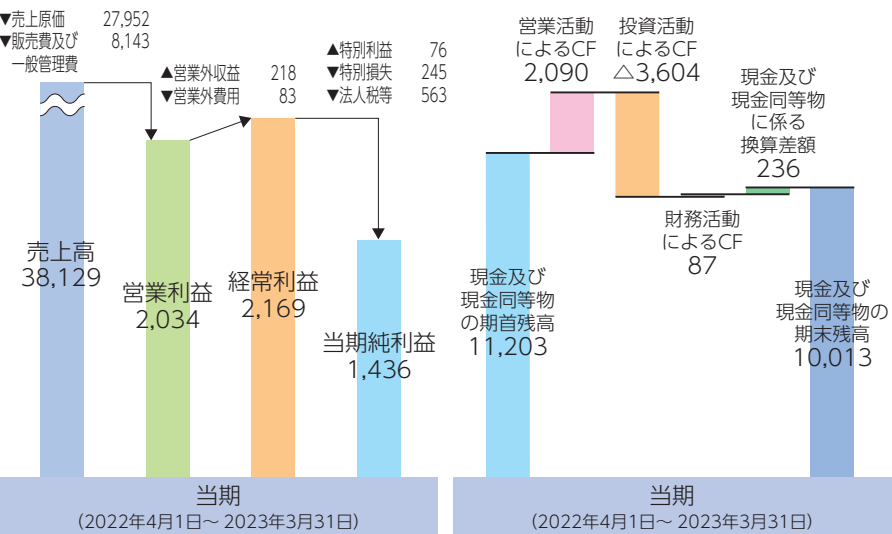
熱媒ボイラー
熱媒体
メンテナンス
プラントエンジニアリング



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)

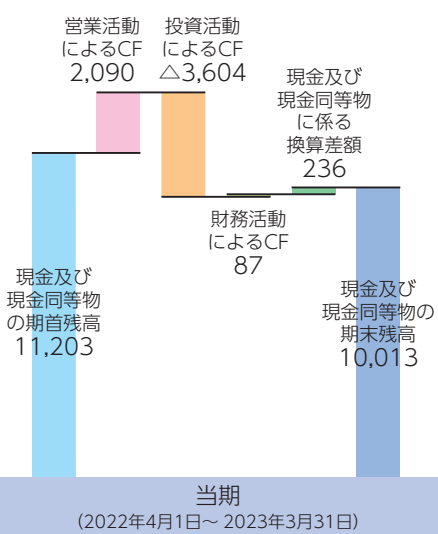


連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



注) 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載しています。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



Check!

Point 1

① 連結キャッシュ・フロー計算書
投資活動によるキャッシュ・フローは、中国南京工場での生産設備増強による有形固定資産の取得などにより、36億4百万円の減少となりました。

Point 2

② 営業利益
売上高営業利益率は、原材料高騰に対する価格改定の効果がありましたが、液晶関連用途の販売数量減が利益を圧迫したことにより、前期5.8%から5.3%に0.5ポイント悪化しました。

(2023年3月31日現在)

会社概要

社 名 綜研化学株式会社

資本金 3,361,563千円

主要な事業内容

- ケミカルズでは、粘着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品等の開発、製造、販売を行っております。
- 装置システムでは、装置・システムの販売、生産システムのエンジニアリング、プラントのメンテナンス、熱媒体油の輸入販売を行っております。

役員 (2023年6月23日現在)

代表取締役社長	福 田 純一郎
専 務 取 締 役	滝 澤 清 隆
取 締 役	富 田 幸 二
取 締 役	岡 本 秀 二
取 締 役	蓮 井 崇 文
社 外 取 締 役	土 屋 淳
社 外 取 締 役	神 山 健次郎
社 外 取 締 役	布施木 孝 叔
常 勤 監 査 役	泉 浦 伸 行
常 勤 監 査 役	野 村 明
社 外 監 査 役	安 田 恵
社 外 監 査 役	松 本 真 輔

事業所

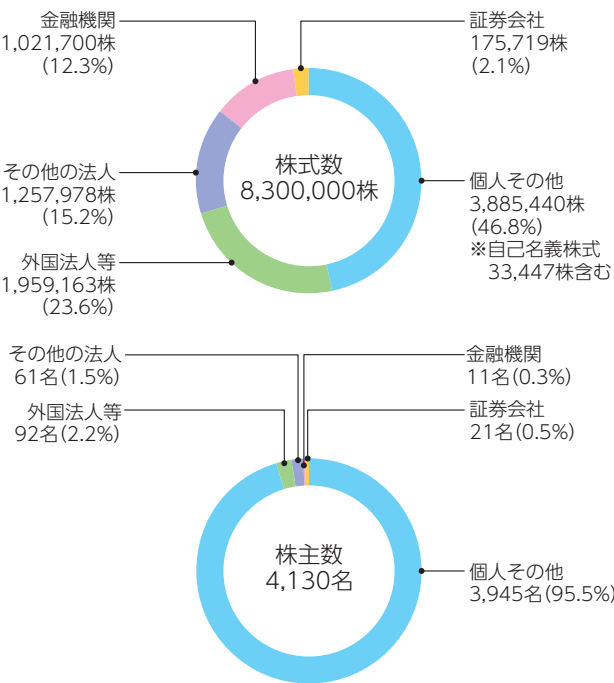
事業所名	所在地
本社	東京都豊島区高田3-29-5
狭山事業所	埼玉県狭山市広瀬東1-13-1
浜岡事業所	静岡県御前崎市池新田8665-1

主要な子会社

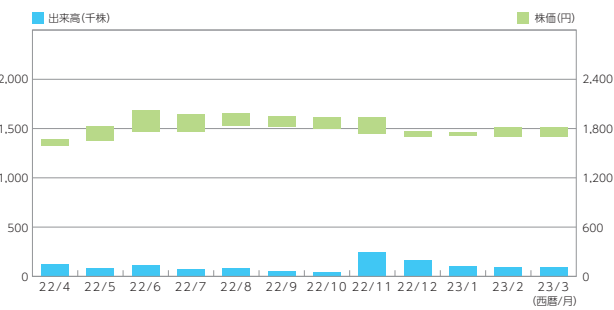
- 綜研テクノックス株式会社
- 綜研化学（蘇州）有限公司
- 寧波綜研化学有限公司
- Soken Chemical Asia Co., Ltd.
- 綜研高新材料（南京）有限公司

発行可能株式総数 33,200,000株
発行済株式の総数 8,300,000株
株主数 4,130名

所有者別株式分布状況



株価 (高値・安値) および株式出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
期末配当金 支払基準日	3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載 URL: https://www.soken-ce.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

綜研化学株式会社

Soken Chemical & Engineering Co., Ltd.

本社 〒171-8531 東京都豊島区高田三丁目29番5号
TEL : 03-3983-3171 FAX : 03-3988-9216
URL : <https://www.soken-ce.co.jp>



本レポートの表紙絵は、障がい者ライブラリー「アートビリティ」に登録されている、アーティスト蔵貫信さんの作品（作品名：「クジラと飛んだ日」）を使用させていただきました。

蔵貫 信（くらぬき しん）

1969年生まれ。山口県在住。
動物をモチーフにしたユーモラスで愛らしいイラストや、詩情溢れるファンタジーなイラストが幅広い層に支持されている。自宅前の「アトリエ蔵」で作品を制作し、個展活動を精力的に行っている。現在は絵本制作にも興味を持ち、様々な作品を創作中。

1998年 「長野アートパラリンピック」 街角賞受賞。

1999年 「第11回障害者アートバンク（アートビリティ旧称）大賞」 日立キャピタル特別賞受賞。

2008年 「第20回アートビリティ大賞」 大賞受賞。

2014年 「第7回下松手作り絵本全国コンクール」 佳作。

当社ホームページのご案内

当社の決算情報や適時開示情報などのIR情報がご覧になれます。



<https://www.soken-ce.co.jp>